

報道関係各位

## 「第3回アジア・太平洋水サミット」開催のお知らせ

SDGs スタートして初の※ アジア太平洋地域の水に関する首脳級会合

特定非営利活動法人日本水フォーラム（東京都中央区、代表理事：竹村公太郎）が事務局を務めるネットワーク組織「アジア・太平洋水フォーラム」は、ミャンマー政府と共催で、「第3回アジア・太平洋水サミット」を下記概要の通り開催します。「第3回アジア・太平洋水サミット」は、国連持続可能な開発目標（SDGs）が2016年にスタートしてから初めて※、アジア太平洋地域において開催される、水に関する首脳級会合です。（※日本水フォーラム調べ）

記

### 1. 第3回アジア・太平洋水サミット 開催概要

日 程：2017年12月11日（月）～12日（火）  
場 所：セドナホテル（ヤンゴン、ミャンマー）  
主 催：ミャンマー政府 及び アジア・太平洋水フォーラム  
テーマ：Water Security for Sustainable Development  
（持続可能な開発のための水の安全保障）

参加者：アジア太平洋地域の元首・首脳、閣僚、国際機関の代表者、水分野の専門家  
目 的：○アジア太平洋地域の持続可能な発展に向けた道筋や取組を、水の観点から示すこと  
○統合的水資源管理、パリ協定や仙台防災枠組など、国際的に合意された協定の実施に向けて、様々な階層での連携や国境を越えた地域間協力を促進すること  
ウェブサイト：<http://apwf.org/summit/myanmar2017>



第3回アジア・太平洋水サミット  
公式ロゴ

### 2. アジア・太平洋水サミットとは？

日本水フォーラムが事務局を務めるネットワーク組織「アジア・太平洋水フォーラム（APWF）」が、開催国政府と共催する、水問題に関する首脳級会合。過去2回開催し、特にアジア太平洋地域で大きな課題となっている「水災害」や「都市の水問題」が世界的な優先事項となるよう発信し、SDGsのターゲットとして盛り込まれることに貢献しました。「第3回アジア・太平洋水サミット」は、SDGsが2016年にスタートしてから初めてこの地域で開催される水サミットです。成長著しく、多くの日本企業も進出しているミャンマーで、水の観点からアジア太平洋地域の持続的な発展を議論します。



前回のアジア・太平洋水サミットの様子  
（タイ、チェンマイ、2013年）

以上

<<現地ご取材要項・申込受付は、11月中旬のご案内を予定しています>>

本件お問い合わせ先：日本水フォーラム 桑原（クワハラ） [press@waterforum.jp](mailto:press@waterforum.jp) TEL:03-5645-8040  
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町5-6 アライズ第2ビル6F Website: [www.waterforum.jp](http://www.waterforum.jp)

## アジア・太平洋水サミットとは

アジア太平洋地域の首脳級の国際会議。この地域の持続可能な発展のために、水問題の解決について話し合い、具体的な行動や地域間協力を促すことを目的として、開催国政府と APWF が共催する。

### ■開催実績・成果

【第1回アジア・太平洋水サミット(2007年12月3日・4日、日本・大分県別府市)】

- ・テーマ: Water Security: Leadership and Commitment  
(水の安全保障: リーダーシップと責任)
- ・参加者: 日本国皇太子殿下、オランダ皇太子殿下(当時)、首脳級(10名)、大臣級(32名)、ADB 総裁等、合計 371 名
- ・成果: 「別府からのメッセージ」の採択。首脳級会合として初めて水災害を優先課題に位置づけ

【第2回アジア・太平洋水サミット(2013年5月19日・20日、タイ・チェンマイ)】

- ・テーマ: Water Security and Water-related Disaster Challenges: Leadership and Commitment  
(水の安全保障と水災害への挑戦: リーダーシップと責任)
- ・参加者: 首脳級 18 カ国、大臣級 16 名等 300 名以上
- ・成果: 「チェンマイ宣言」の採択。タイ洪水(2011年)の経験から、災害リスクの低減をポスト MDGs に組み込むことを提言

### ■APWS 対象国・地域

【中央アジア】	アフガニスタン、アルメニア、アゼルバイジャン、ジョージア、カザフスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタン、ウズベキスタン
【北東アジア】	中国、韓国、日本、モンゴル
【東南アジア】	ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、東ティモール、ベトナム
【南アジア】	バングラデシュ、ブータン、インド、ネパール、パキスタン、モルディブ、スリランカ
【オセアニア・太平洋】	オーストラリア、クック諸島、フィジー、キリバス、マーシャル諸島、ミクロネシア、ナウル、ニウエ、ニュージーランド、パラオ、パプアニューギニア、サモア、ソロモン諸島、トンガ、ツバル、バヌアツ
【その他】	イラン、イスラエル

### ■第3回アジア・太平洋水サミット 期待される成果

エネルギー、食料、防災など「水の安全保障」の観点から、アジア太平洋地域の持続的な発展を議論し、ヤンゴン宣言(仮称)を採択。その成果を、第8回世界水フォーラムをはじめとする国際社会の議論の場で発信し、SDGs 達成に向けた具体策への貢献を果たす。

## ■アジア・太平洋水フォーラム (Asia-Pacific Water Forum: APWF) 概要

日本水フォーラムが事務局を務める、アジア太平洋地域の国際ネットワーク組織。

- ・設立年: 2006(平成 18)年
- ・設立趣旨: アジア太平洋地域の声をとりまとめ、水問題を世界の優先課題とすることを目指す  
また、地域の英知を集結し、課題の解決を目指す
- ・設立背景: 2006年3月、メキシコで開催された第4回世界水フォーラムにて、故橋本龍太郎(元内閣総理大臣・日本水フォーラム前会長)が設立を宣言。同年9月、フィリピンのアジア開発銀行(ADB)本部にて発足式典を挙げる
- ・目的: 地域の水に関わるさまざまな機関のネットワーク・プラットフォームとなり、アジア・太平洋水サミット等の機会を創出し水問題の解決に貢献する

### ・APWF 組織構成:

- 会 長: 森喜朗(元内閣総理大臣、日本水フォーラム会長)
- 議 長: ラビ・ナラヤナン(元ウォーターエイド CEO、日本水フォーラム評議員)
- 副議長: チャンファ・ウー(元クライメイト・グループ大中華圏代表)  
サイモン・テイ(シンガポール国際問題研究所所長)
- 事務局: 日本水フォーラム
- メンバー機関: アジア太平洋地域の水に関わる主要機関等(順不同)



APWF □□

アジア開発銀行 (ADB)、国連アジア太平洋経済社会委員会 (UNESCAP)、  
国連食糧農業機関 (FAO)、シンガポール水事業庁 (Singapore PUB)、  
国連人間居住計画 (UNHABITAT)、国連教育科学文化機関 (UNESCO)、  
水災害・リスクマネジメント国際センター (ICHARM)、  
国際総合山岳開発センター (ICIMOD)、国際水管理研究所 (IWMI)、  
アジア河川流域機関ネットワーク (NARBO)、世界水パートナーシップ本部 (GWPO)、  
世界水パートナーシップ (GWP) 南アジア、GWP 東南アジア、GWP 中央アジア/コーカサス、  
国際アラル海救済基金執行委員会 (EC-IFAS)、韓国水フォーラム (KWF)、  
太平洋共同体 (SPC)、オーストラリア水国際水センター (IWC)、  
日本サンテーションコンソーシアム (JSC)、アジア工科大学 (AIT)、  
地球環境戦略研究機関 (IGES) ほか

## ■日本水フォーラム (Japan Water Forum: JWF)

2003(平成 15)年に琵琶湖・淀川流域で開催された国際会議「第3回世界水フォーラム」を契機に設立された特定非営利活動法人(東京都認証、2004(平成 16)年)。国内外の水問題の解決に寄与することを目的とし、すべての人が水に起因する苦しみから解放され、水の恩恵と価値を最大限に享受できる世界の実現を目指す。国内外の多岐にわたる水関係社とのネットワークを活かし、世界各地及び国内において、「政策提言」「草の根活動の支援」「日本の叡智の世界への発信」「人材育成・啓発」に取り組んでいる。

本件お問い合わせ先: 日本水フォーラム 桑原(クワハラ) [press@waterforum.jp](mailto:press@waterforum.jp) TEL: 03-5645-8040  
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町 5-6 アライズ第2ビル6F Website: [www.watarforum.jp](http://www.watarforum.jp)